

文献

- Brazelton, T.B., 小林登訳(1982). ブラゼルトンの親と子のきずな-アタッチメントを育てるとは. 医歯薬出版
- 遠藤俊子(2013). マタニティサイクルにおける母子の健康と看護, 新体系看護学全書母性看護学 2, メディカルフレンド社
- Feldman H.(1961). The development of the husband-wife relationship. Unpublished study supported in part by the National Institute of Mental Health
- Fortier, J. C., Carson, V.B., Will. et al.(1991). Adjustment to a newborn, Sibling preparation makes a difference. J Obstet Gynecol Neonatal Nurs, 20(1), 73-79.
- Friedman M.M/野嶋佐由美監訳(1996). 家族看護学-理論とアセスメント-, 89-92, へるす出版.
- 今井静, 青木望美, 中野ゆかり他(2006). 子ども立ち会い分娩を体験した母親の思い. 日本助産学会誌, 19(3), 108-109. 月僧厚子(2003). 上の子どもを家族立ち会い出産に参加させた母親の体験に関する研究-出産から 3 年後の母親への面接調査より-. 日本助産学会誌, 16(3), 88-89.
- 伊藤靖子, 山川美由紀, 鈴木陽子他(2006). 夫の妻や子に対する意識の変化-夫立ち会い分娩を経験した夫と経験しない夫の比較-日本看護学論文集: 母性看護, (37), 110-112.
- Jenkins, P.W.(1976). Conflicts of a secundigravida. Matern Child Nurse J. 5(2). 117-126.
- Johnsen, N.M. & Gaspard, M.E.(1985). Theoretical foundations of prepared sibling class. J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 14(3). 237-242.
- 我部山キヨ子, 清野喜久美, 伊藤久美子(2004). 家族立ち会い分娩と周産期要因の関連性 夫・上子立ち会い分娩と非立ち会い分娩 3 群比較から. 三重看護学誌, 6, 17-22.
- 片岡弥恵子, 須藤宏恵, 永森久美子他(2008). 幼児と妊娠中の母親および家族への性の健康クラスの影響-クラスに参加した母親の気持ちと家族の反応の変化から-. 日本助産学会誌, 22(2), 158-169.
- 河谷麻紀, 平井愛子, 馬渡佐智枝他(2003). 性教育の視点から見た子供立ち会い分娩の効果. 母性衛生, 44(4), 472-480.
- 萱間真美(2007). 質的研究実践ノート 研究プロセスを進める clue とポイント. 東京: 医学書院. 31-49
- Keirse, C.M., Enkin, M., & Lumley, J (1989). Social and professional support during

childbirth. Effective care in Pregnancy and Childbirth. 805-814.

児嶋桃子,今井静,青木望美他(2005).病院における子供立会い分娩の取り組み.日本助産学会誌,18(3),278-279.

小島康夫,入澤みち子,脇田満里子(2001).第2子の誕生から1ヶ月目までの母親-第1子関係と第1子の行動特徴-.母性衛生,42,212-221.

蔵本直子(2008).母親の出産に参加した子どもの体験とその意味.日本助産学会誌,22(2),124-135.

McCubbin,H.I.,Joy,C.,and others(1981). "Family Stress and Coping-A Decade Review,"Journal of Marriage and the Family,42(4),

三上理枝子,村山より子,久米美代子他(2009).立会い出産を通して変化する夫の気持ち.日本ウーマンヘルス学会誌,8(1),65-73.

森田健一,岡田由香,久納智子他(1998).現代夫婦の夫立会い分娩に対する意識について.愛知母性衛生学会誌,16,103-110.

中村紋子,片岡弥恵子,堀内成子他(2006).新しく兄姉になる子どもと家族のクラス「赤ちゃんがやってくる」の実施と評価.日本助産学会誌,20(2),85-93.

南部春生(1994).経産婦のもつ育児不安,周産期医学,24(5),618-623.

Okubo C., Sankai C., Yanagisawa H. et al.(2008).Witnessing the birth of a sibling-Looking at drawings to understand the possible effects on childbirth-.日本助産学会誌,22(2),233-248.

小野友貴奈(2013).出産の場面における家族に向けた助産ケア.聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程課題研究:2012年度

Rubin,R., 新藤幸恵,後藤桂子訳(1984).Maternal identity and the maternal experience, ルヴァ・ルービン母性論.母性の主観的体験,医学書院

佐々木和子(2001).「夫立ち会い分娩」に関する産科勤務者の意識調査.医療, 55(9), 419-423.

白井希,片岡弥恵子(2011).東京都における子どもが参加する出産の現状.聖路加看護大学紀要,(37),1-5.

菅原真澄(2009).分娩に立会う幼児の行動.聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程課題研究:2008年度

鈴木敬子,大町寛子,水谷幸子他(2003).女性が出産に望むこと 助産院での調査より.母性衛生,44(1),98-104.

- 都筑千景,金川克子(2001).出産後から産後 4 カ月までの子をもつ母親に生じた育児上の不安とその解決方法-1 子の母親と第 2 子以上の母親における比較-,日本地域看護学会誌,3(1),193-98.
- 渡辺久枝(2008).よいお産に向けての活動-子ども立会い分娩-,未来にひろがる助産師活動,ペリネイタルケア,メディカ出版,2008 年夏季増刊(351),122-123.
- WHO(1985).Appropriate technology for birth. Lancet, 24,436-437.
- WHO(1997).59 か条お産のケア実践ガイド.戸田律子訳.農産漁村文化協会,25.
- 山勢博彰(2002).家族への危機介入.ハートナーシング.15(3).243-248.